

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		財政事務費 [起債事務]											
予算科目	款	2	総務費		項	1	総務管理費		目	4	財政管理費	事業番号	1
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)												
担当部署・課長名	財政					課			財政担当		係	課長名	鈴木 俊也
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。										施策番号	行 - 1		
【施策名】 適正な財政運営										総合計画書 (ページ)	119		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 「公営企業に要する経費」、「出資金及び貸付金」、「地方債の借換えに要する経費」、「災害応急事業費、災害復旧事業費及び災害救助事業費」、「公共施設、公用施設の建設事業費等」					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ① 予算化した起債対象事業(借換えを除く)の件数 ② 予算化した起債額							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市の事業(一般会計の普通建設事業)について財源の確保を図る。また、資本的な役割を果たす事業(経費)に係る住民負担の均衡化を図る。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ① 借入れした起債対象事業(借換えを除く)の件数 ② 借入れした起債額							
	③ そのために何をしましたか。 予算化する市の事業(一般会計の普通建設事業)の財源として必要な資金を国の機関や東京都等から調達(借入)する。なお、借入金の償還事務については、翌年度以降の会計年度において行うこととなる。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ① 起債対象事業に係る計画書の提出 ② 資金区分による借入申請							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標				
	対象指標	①の数值	①件 ②千円	4 1,480,350	7 1,634,481	2 1,247,993							
	成果指標	②の数值	①件 ②千円	4 1,412,850	6 1,555,781	2 1,225,793							
	目標	②の目標値	-	-	-	-							
目標値設定の考え方 当該年度に実施した事業について、特定財源を充当後、起債額等が決まるため、目標値設定の考え方にはなじまない。													
	活動指標	③の数值	①件 ②千円	4 3	3 3	3 3							
3 経費	事業費(実績)		円	8,499	6,160	6,490		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	8,499	6,160	6,490							
		特定財源(国・都・他)	円			0							
		(うち受益者負担)	円			0							
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5							
		所要人数(再任用)	人										
		職員人件費(再任用以外)	円	4,155,000	4,190,000	4,125,000							
	職員人件費(再任用)	円											
事業費+人件費		円	4,163,499	4,196,160	4,131,490								
4 環境変化等	(1) 開始年度	不明 年度											
	(2) 環境の変化	財政健全化法の施行に伴い、「実質公債費比率」及び「将来負担比率」については、監査委員の意見を付して市議会に報告し、住民に公表することになっている。											

